

受信機

RX-300A-S

このたびは本商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
ご使用前に、本説明書をお読みいただき、正しいご使用をお願い申し上げます。

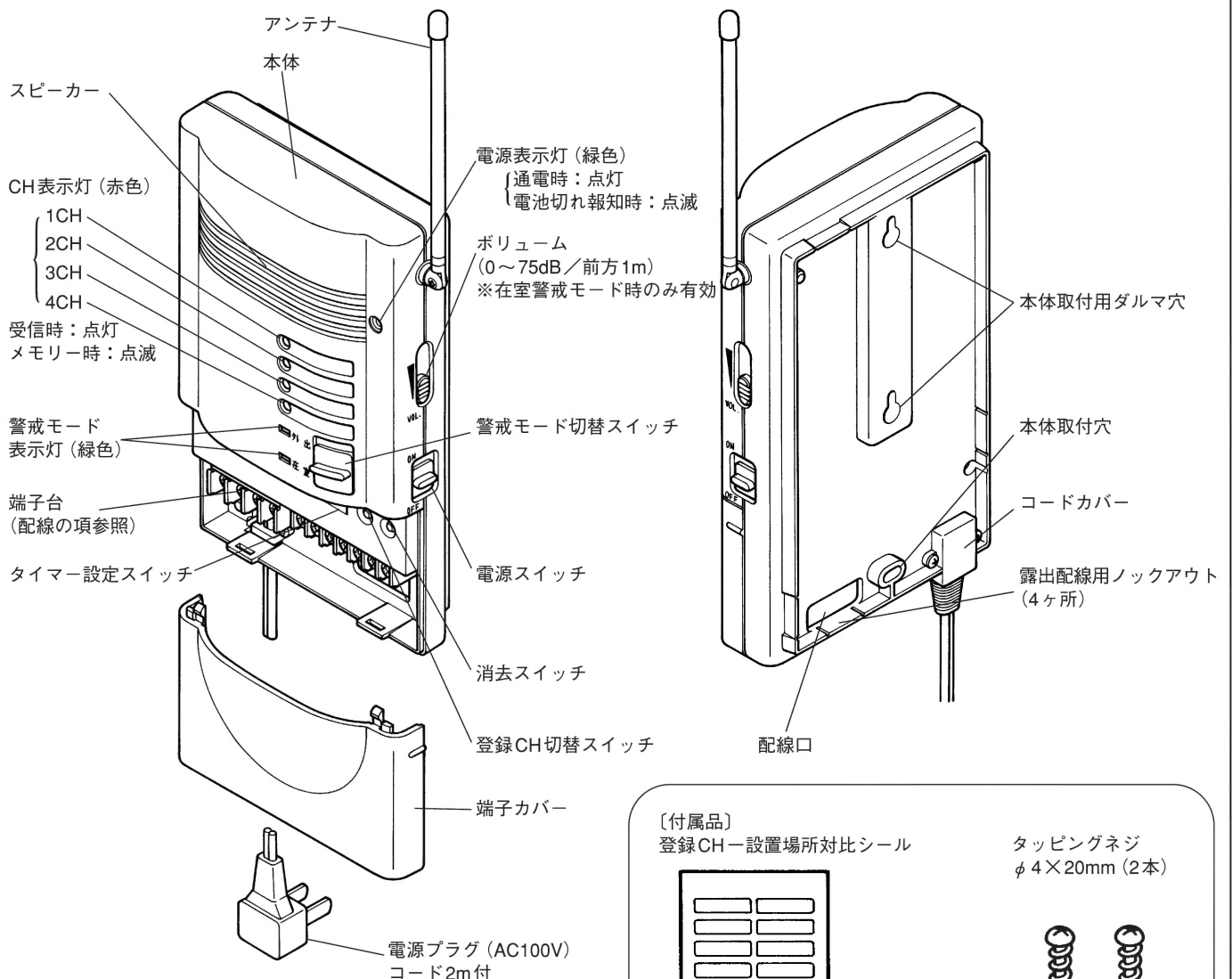
1 商品説明

小電力型ワイヤレスセキュリティシステム「受信機RX-300A-S」は、弊社小電力型ワイヤレスセキュリティシステムの各送信機と組み合わせてご使用いただくことにより、受信した電波の情報を接点出力に変換し、各種通報装置を経由して電気通信回線により非常通報を行います。

また、“外出”“在室”のふたつの警戒モードがありますので、様々な現場の状況において最適なワイヤレスセキュリティシステムが構築できます。

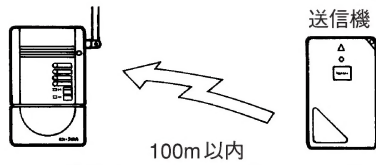
本装置は、電波法で認められた「小電力セキュリティシステムの無線局」です。電気通信回線に接続し、火災、盗難などの非常の通報を行うための装置です。

2 各部の名称

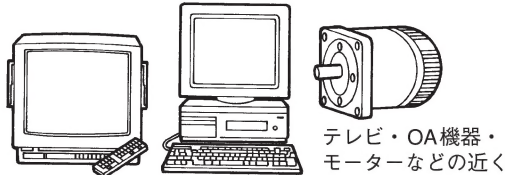


3 ご使用上の注意

- 本装置の受信可能距離は見通し距離で約100mです。設置場所の建物の構造や送信機との間の障害物など、周囲の環境により受信可能距離が短くなる場合がありますのでご注意ください。

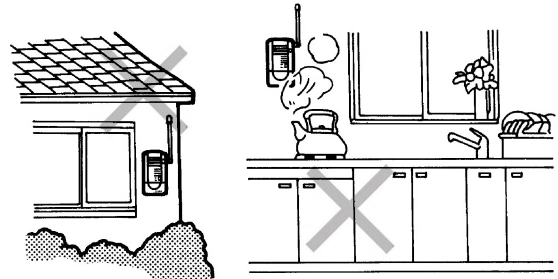


- 強い電界や磁気を発生する機器の近くでは正常に動作しないことがあります。

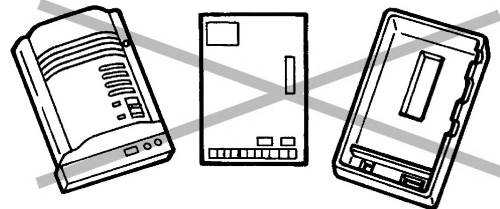


- 実際に送信機・受信機の設置・配線工事を行うまえに電源線を仮配線し、送信機の登録および設置しようとする場所間で確実に受信可能であることを確認してください。
- 本装置はAC100VまたはDC10～16Vを使用します。誤配線または違う電源を使用しますと火災・感電の原因となる場合があります。
- 本装置は電源スイッチがOFF状態でも送信機からの電波を監視しています。電源入力をOFFにされた場合は監視機能がなくなりますので、電源入力でのON/OFF制御はしないでください。

- 本装置は屋内専用です。雨のかかる場所や湿気の多い場所には設置しないでください。



- 改造すると法律により罰せられます。また、故障の原因ともなりますので、分解や改造は絶対にしないでください。



- 本装置は、必ず技術基準適合認定品の非常通報装置などに接続してください。
- 本装置は、日本国内の使用に限りです。
- お手入れの際は乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナー・ベンジンなどの薬品で拭かないでください。

4 基本動作

本機には「外出警戒モード」と「在室警戒モード」のふたつの独立した警戒モードがあり、モードごとに異なった警報動作を行います。

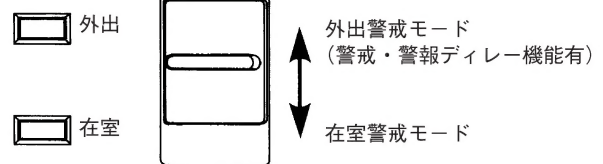
* 本体表面の警戒モード切替スイッチを操作することにより警戒モードを切り替えることができます。

[運用方法の確認]

- チャンネルごとの警戒区域は？
(送信機)
- 1CH: _____
2CH: _____
3CH: _____
4CH: _____
- 警報出力タイマー時間の設定は？
3秒 30秒 2分 5分
 - 警戒・警報ディレー時間の設定は？
0(無) 30秒 1分 2分

《外出警戒モード》 外出する場合など、無人の状態での警戒

| | |
|---|---|
| 〔警報音〕 受信チャンネルに関係なく “ピーポー” ● 警報出力タイマー時間鳴動 ● 音量：固定 | 〔警報出力〕 出力① □ 警報出力タイマー 出力② □ 時間動作する 総 合 ワンショット時間動作する |
|---|---|



《在室警戒モード》 就寝時など、在室しているときの警戒

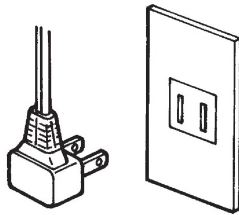
| | |
|---|---|
| 〔警報音〕 1CH “ピンポーン” 2CH “ピピッ、ピピッ” 3CH “ブルブル” 4CH “ボロロン” ● ワンショット時間鳴動 ● 音量：ボリュームで可変 | 〔警報出力〕 出力① □ 動作しない 出力② □ 動作しない 総 合 ワンショット時間動作する |
|---|---|

- ◎ 警報出力(総合)は外出警戒モード、在室警戒モードにかかわらず動作します。
警報出力(総合)には警報信号受信時、電気通信回線を通じて非常通報を行うよう、非常通報装置やセキュリティコントローラを接続してください。

7 配線方法

一電源について下記のいずれかをご使用ください。併用は絶対にしないでください。⚠

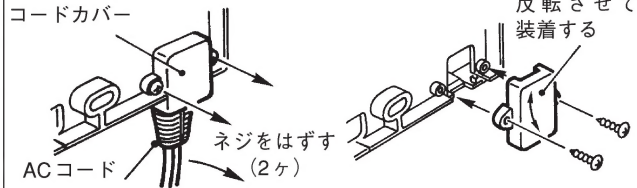
[A] AC100Vを使用



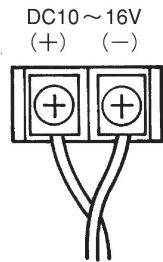
- ACプラグをコンセントに差し込みます。

[B] DC電源を使用

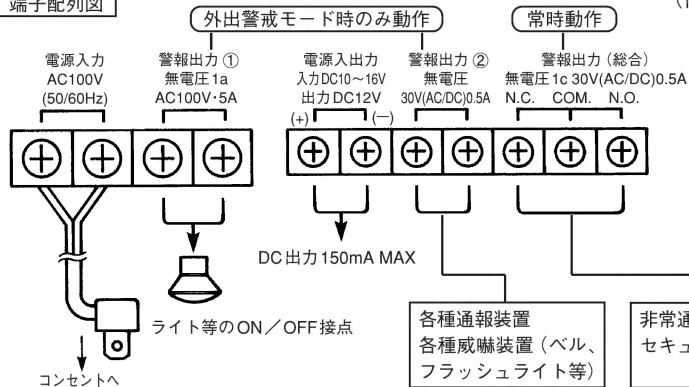
1. ACコードを端子台からはずします。
2. コードカバーを本体からはずし、ACコードを抜き取ります。
3. コードカバーを反転させて本体に取り付けます。(ACコード用穴がふさがれます。)



4. DC入力端子台に配線を接続します。



端子配列図



(備考) AC電源の埋込配線の場合は“[B] DC電源を使用”と同様に正しい配線はAC入力端子に接続してください。

- 本装置には停電補償回路は内蔵されておりません。停電補償が必要な場合は、バッテリーバックアップ付の直流電源や無停電電源などを接続してください。
- 接続する制御機器やコントローラの施工マニュアル、説明書もご参照のうえ、配線、接続を行ってください。
- 電話回線などへの接続は、必ず技術基準適合認定品の非常通報装置を使用してください。
- 警報出力は電源をOFFにしても切り替わりません。

8 機能設定

取付及び配線がすべて完了しましたら、タイマー設定スイッチをボールペンなどの先の細いもので操作して以下の設定を行ってください。

1. 警報出力タイマー時間の設定

外出警戒モード時に送信機からの警報及びタンパー信号を受信した時、警報動作する時間の長さを設定します。

右表を参考にしてタイマー設定スイッチNo.1、2で設定してください。

- * 警報動作中は警報音が鳴動するとともに、警報出力(①、②)が連動します。
- * 警報出力(総合)は、本設定に関係なくワンショット時間(約4秒)動作します。
- * 連続受信時はタイマー時間は延長されます。

| タイマー設定スイッチ | | 警報出力タイマー時間 |
|------------|------|------------|
| No.1 | No.2 | |
| ■ | ■ | 3秒 |
| ■ | ■ | 30秒 |
| ■ | ■ | 120秒(2分) |
| ■ | ■ | 300秒(5分) |

2. 警戒・警報ディレー時間の設定

ディレー時間には「A：外出警戒をセットした時点から実際に警戒に入るまで」と「B：外出警戒中に警報信号を受信した時点から警報動作をするまで」の2通りがあり、Aを警戒ディレー時間、Bを警報ディレー時間と呼びます。

右表を参考にしてタイマー設定スイッチNo.3、4で設定してください。

- * 警戒、警報ディレー時間を個別には設定できません。

| タイマー設定スイッチ | | 警戒・警報ディレー時間 |
|------------|------|-------------|
| No.3 | No.4 | |
| ■ | ■ | 0(無) |
| ■ | ■ | 30秒 |
| ■ | ■ | 60秒(1分) |
| ■ | ■ | 120秒(2分) |

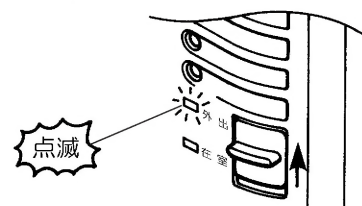
◎警戒・警報ディレー動作について

【警戒ディレー】

1. 警戒モード切替スイッチを外出警戒側に設定すると外出警戒表示灯がディレー時間点滅します。
 - * 点滅中に警戒区域外に退出すれば途中で送信機が警報信号を送信しても警報動作は行いません。
2. ディレー時間経過後、表示灯の点滅が点灯に変わり外出警戒に入ります。

【警報ディレー】

1. 外出警戒中に送信機から警報信号を受信した場合、警報ディレー時間経過後に警報動作を行います。
 - * 外出からの帰宅時などに途中のセンサ送信機が検知してもディレー時間中に警戒モード切替スイッチを“在室”に切り替えれば、警報動作は行いません。
 - * タンパー信号及び下記送信機からの信号受信時はディレー時間の設定に関係なく即座に警報動作を行います。
(TX-101A、TX-101K、TX-101P、TX-104シリーズ、TX-109、TX-110、TX-111)



9 動作確認

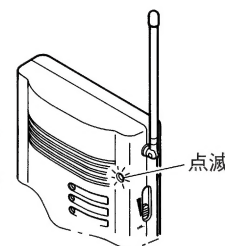
1. 電源を接続し、電源スイッチを“ON”にして電源表示灯が点灯していることを確認してください。
2. 警戒モード切替スイッチを“在室”にセットしてください。
3. 送信機より警報信号を送信させてください。
* 送信方法は各送信機の説明書をお読みください。
4. このとき本受信機側で該当する送信機が登録されているチャンネルのCH表示灯が点灯し、対応する警報音が鳴り、警報出力（総合）が動作することを確認してください。
5. 警戒モード切替スイッチを“外出”にセットして、上記と同様に送信機より送信させ、受信機側で該当する送信機が登録されているチャンネルのCH表示灯が点灯し、警報音が警報出力タイマー時間鳴り、警報出力（総合、①、②）が動作することを確認してください。
* 警戒・警報ディレー機能をお使いの場合は、[8 機能設定] の項を参照してディレー時間終了後、動作確認してください。
6. 受信状態が悪い場合は警報信号受信時にCH表示灯が約4秒間点滅してお知らせします。この場合、送信機の位置を移動させて再度確認してください。

10 送信機の電池切れ報知について

各送信機の電池が消耗し電圧が低下した場合、定期送信や警報信号などに情報を付加して送信し、受信機に伝えます。電池切れ信号が発生した場合は、すみやかに送信機の電池を新しいものと交換してください。放置されますと送信機がまったく動作しなくなったり異常動作を起こす原因となりますのでご注意ください。

電池切れ報知として、受信機側では電源表示灯が点滅（復旧するまで）、及び在室警戒時は警報信号受信時、在室警報音が断続的に鳴動します。

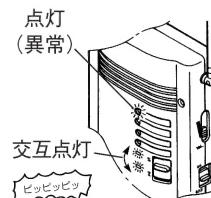
- * 送信機の電池はシステムの保守点検などに合わせて定期的に交換してください。
- * 電池切れ信号を受信しても、受信機の警報出力は動作しませんのでご注意ください。



11 ループチェックについて

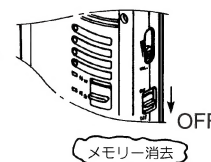
外出警戒にセットする際、自動的にループチェック（戸締まり点検）を行います。

- 全てのチャンネルに異常がない場合は、そのまま外出警戒のセットが行えます。
- 接点入力型送信機からのセット信号を受信していたり、送信機からのタンパー信号を受信している場合は、“ピッピッピッ”という点検音が鳴り、また警戒モード表示灯が交互点灯して異常をお知らせします。
- この場合、警戒モードスイッチを“在室”に戻せばループチェックの表示は止まります。
- 異常のあるチャンネルはCH表示灯が点灯していますので登録されている送信機を点検して正常に復帰させてください。
- ループチェック中に別の送信機からの信号を受信した場合、CH表示灯は点灯しますが警報動作は行ないません。



12 メモリー機能について

- (1) 外出警戒モード時の警報メモリー機能
外出警戒中に警報信号及びタンパー信号を受信した場合は、警報出力後受信したチャンネルのCH表示灯が点滅してメモリー表示を行います。
・ 在室警戒モードに戻してもメモリー表示は継続します。
・ メモリーは電源スイッチを一度OFFにすることによりリセットできます。
- (2) 電池切れ報知のメモリー機能
警戒モードに関係なく送信機から電池切れ信号を受信した後は、復旧するまで電源表示灯が点滅して電池切れをお知らせします。



13 点検方法（正常な動作をしない場合）

次の図に従って点検してください。

点検の結果、なお正常な動作に回復しない場合は、ご購入店または弊社までお申し出ください。

| 異常現象 | 原因 | 処置 |
|----------------------|--------------------------------|----------------------|
| 全く動作しない (電源表示灯消灯) | 電源が入っていない(断線も含む) | 電源線が正しく接続されているか確認 |
| | 電源スイッチがOFF状態になっている | 電源スイッチをON状態にする |
| 全く受信しない | 送信機が受信機に登録されていない | 登録する |
| | 送信機との間の距離が遠すぎる (100mを超えている) | 送信機または受信機の設置距離を近づける |
| 受信しないことがある | 強い電界や磁界を発生する機器が近くにある | 該当機器から遠ざけるなど設置環境の再検討 |
| | 送信機との間の距離や周囲の環境が悪い | 該当送信機の位置を移動させてみる |

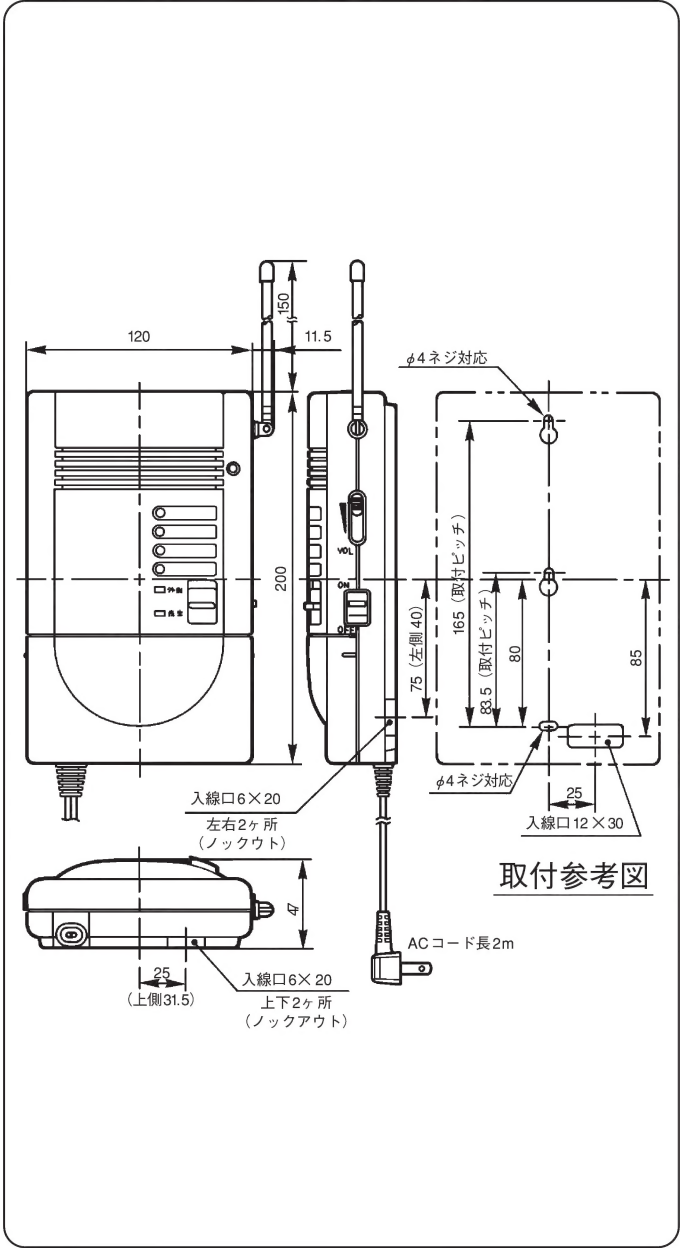
14 仕 様

| | |
|-----------------|---|
| 品 名 | 受信機 |
| 品 番 | RX-300A-S |
| 電 源 | AC100V 50/60Hz 12W または DC10 ~ 16V350mA |
| 使用周波数帯 | 426MHz 帯 (小電力セキュリティシステムの無線設備) |
| 空 中 線 | $\lambda/4$ ホイップアンテナ |
| 受信可能距離 | 約100m (見通し距離) |
| 警 報 出 力 | 出力① 無電圧大リレー接点 1a 定格: 100V (AC) 500W MAX. (白熱灯負荷) 出力② 無電圧小リレー接点 1a 定格: 30V (AC/DC) 0.5A (抵抗負荷) 動作 (出力 共通、外出警戒時のみ動作) : 1CH~4CH 受信時警報出力タイマー時間動作 (3秒、30秒、2分、5分) ※連続入力時は延長 総 合 無電圧リレー接点 1c 定格: 30V (AC/DC) 0.5A 抵抗負荷 動作 (警戒モードに関わりなく常時動作) : 1CH~4CH 受信時ワンショット動作 (約4秒) |
| 電 源 出 力 | 150mA MAX (DC12V) |
| 表 示 灯 | 電源表示灯 (緑色) 通 電 時: 点灯 電池切れ報知時: 点滅 CH表示灯 (赤色) 警 報 信 号 受 信 時: 受信したCHの表示灯が点灯 タンバ-信号受信時: 受信したCHの表示灯が点灯 ※復旧するまで保持 受 信 感 度 不 良 時: 受信したCHの表示灯が点滅 (約4秒間) 登録モード時: 登録受付CHの表示灯が点滅 警戒モード表示灯 (緑色) 外出警戒モード時: 外出警戒表示灯点灯 入室警戒モード時: 入室警戒表示灯点灯 ループチェック異常時: 外出、入室警戒表示灯が交互点灯 |
| 操 作 ス イ ャ | 電源スイッチ 警戒モード切替スイッチ 登録CH切替スイッチ 内部 消去スイッチ |
| 内 蔵 電 子 サ イ レ ン | 在室警戒時警 報 音 1CH “ピンポン” 2CH “ビビッ、ビビッ” 3CH “ブルブル” 4CH “ポロロン” 鳴動時間: 約6秒 ※連続入力時は延長 音 量 : 0~75dB/前方1m 音量ボリュームにて可変 外出警戒時警 報 音 1CH~4CH “ビーボー” 鳴動時間: 警報出力タイマー設定時間 (3秒、30秒、2分、5分) 音 量 : 75dB/前方1m 固定式 ループチェック: “ビビビビ” 異常時点検音 電池切れ報知音: 警報音が断続鳴動 (入室警戒時のみ) |
| 警戒・警報ディレイ機能 | 外出警戒時: 有 (遅延時間0 (無)、30秒、1分、2分) |
| 送信機登録可能台数 | 30台 |
| 配 線 接 続 | 端子式 (AC電源入力はプラグ式、端子式併用) |
| 使用温度範囲 | -10℃~+40℃ |
| 設 置 場 所 | 屋内 (壁面取り付け) |
| 重 量 | 700g |
| 外 観 | ABS樹脂 (ホワイト) |
| 付 属 品 | 登録CH-設置場所対比シール 取付用タッピングネジ $\phi 4 \times 20$ mm 2本 |

■ 免責事項について ■

- 本商品は各種の監視、警戒、報知、起動、威嚇、忌避、制御、護身などに使用するもので盗難防止器、災害防止器、環境破壊防止器ではありません。万一発生した盗難事故、人身事故、災害事故、環境破壊事故などによる事故損害については責任を負いかねます。
- 本商品の取り付け、取り外し時の事故で発生した怪我、損害については弊社は一切責任を負いません。
- 本商品の取り付け、取り外しによる建物等への損傷についても弊社は一切責任を負いません。
- 地震・雷および弊社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。

15 外形寸法図 (単位: mm)



取付参考図

⚠ 安全に関するご注意

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器の出力接点を接続機器の容量を超えないようにしてください。火災の原因となります。
- この機器を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

Exsight

エクサイト株式会社

〒607-8345 京都市山科区西野離宮町16-1
Tel. 075-594-8288 Fax. 075-594-8380
<http://www.exsight.co.jp>

■ 製造元/竹中エンジニアリング株式会社

● 仕様など予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

* 品質に関しては、当社の品質保証規定に基づき保証させていただきます。
万一不具合な点がございましたら、お買上の販売店にお申し出ください。